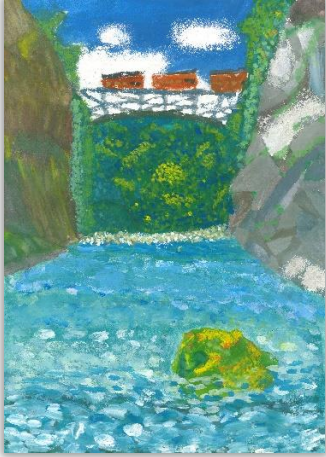
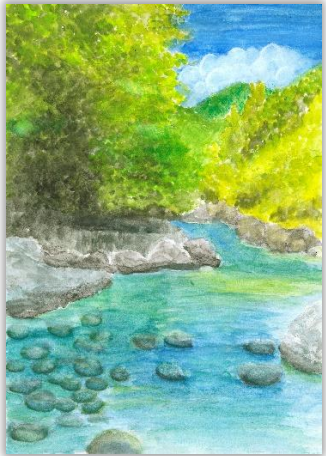
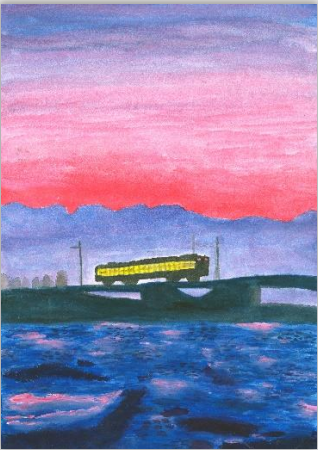
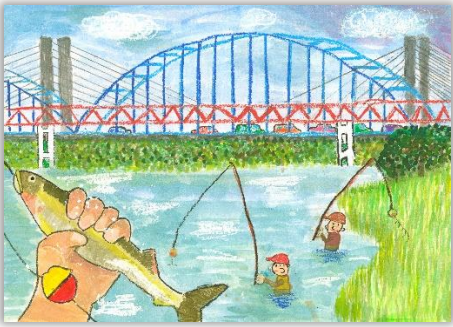
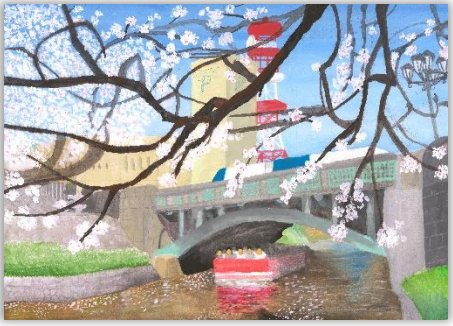


	作品	講評
1 黒部川 (低学年 金賞)	 「さわやかな黒部峡谷」 とやましりつうさか 富山市立鶴坂小3年 しらいし きな 白石 紗菜 さん	黒部峡谷の黒薙駅近くの後曳橋と、その下を流れる川を描いた作品と推測されます。深く険しい谷、緑あふれる山、まぶしい青空を背景に、峡谷を流れる川が白いしぶきをあげながら目の前いっぱいにせまってきた様子が、鮮やかな色使いで描かれています。トロッコ列車の赤みを帯びた車体が差し色となって画面全体を引き締め、画面にメリハリがついています。 黒部峡谷の自然の雄大さがよく伝わる絵に仕上がっています。
2 黒部川 (高学年 金賞)	 「いろいろな色の川と山」 とやましりつはまろさき 富山市立浜黒崎小5年 みずの つばき 水野 椿 さん	日が当たっている樹々の葉は明るくやわらかな緑、陰になっている部分は暗い深緑、川の水は透明感のあるエメラルドグリーン・・・と、多様な緑色を使い分けています。一口に緑色といっても、自然界には様々な美しい緑があることを改めて気づかせてくれる一枚です。 黒部川上流の猿飛峡の景色の美しさがよく伝わってきます。葉っぱ、川底の石、川の水など、それぞれ異なる筆遣いで、ものの質感の違いを表現している点も秀逸です。

	作品	講評
3 常願寺川（低学年 金賞）	 「砂防ダムとキラキラ光る水しぶき」 とやましりつしほの 富山市立芝園小3年 にしむら ななこ 西村 菜奈子 さん	常願寺川砂防施設のひとつを取り上げた作品で、両側からせまる木々の緑のあいだから、階段状の堰堤が見えます。糸状に流れる水は細かい水滴が連なるように描かれており特徴をよく捉えて表されています。手前にはねる水しぶきが冷たさを感じさせ、暑い夏の水辺の心地よさを想像させます。橋の欄干の赤色がきらめく水の青さや明るい草木の緑によく映えており、色使いもあざやかな一枚です。
4 常願寺川（高学年 金賞）	 「夕焼けの常願寺川」 とやましりつくれは 富山市立呉羽小5年 いずみ なのは 泉 奈乃葉 さん	夕焼けを背景に、常願寺川を電車が渡っているところが描かれています。山際は赤く、天頂に向かって暗い色へと変化している空は、太陽を追いかけて夜がやってくる日没直後の美しさをよく表現しています。川にかかる橋を渡る電車の窓は温かみのある黄色で描かれ、ノスタルジーを感じさせます。美しい空のグラデーションや、さざなみをたてて流れる川面に夕焼けが反射する様子が印象的な、目を惹きつける作品です。

	作品	講評
5 神通川（低学年 金賞）	 「お父さんとあゆづり」 とやまだいがくきょういくがくぶふぞく 富山大学教育学部附属小2年 いしい かんじ 石井 寛治 さん	立派な鮎とそれを握る手が目を惹きます。水しぶきが画面から飛んできそうです。向こうには二人の釣り人。一人は竿の糸先に集中、もう一人は作者のお父さんでしょうか、こちらを見て微笑んでいます。川面のきらめく様子や河川敷の緑も繊細な筆遣いで描いていて大変良いです。よく見ると背景には赤い水道管の橋、車が行き交う神通大橋、新幹線の吊り橋梁と3種類の橋がそれぞれの特徴とともに描かれていることにも驚きました。日常の景色と豊かな川の恵みがひとつにまとまった素敵な作品です。
6 神通川（高学年 金賞）	 「松川の花いかだ」 とやまだいがくきょういくがくぶふぞく 富山大学教育学部附属小6年 かめしま まゆ 亀島 万結 さん	春の桜橋付近の様子を表した一枚です。松川にかかる桜橋の特徴的なアーチや欄干、背後の電気ビル、市内を走るトラム、レトロな街灯・・・と、富山市を象徴する建造物がバランス良く、特徴をとらえて描かれています。川べりの草も一本一本丁寧に描かれています。 松川を通る花いかだは満員で、人々が花見を楽しむ様子が良く伝わって来る素敵な作品です。

	作品	講評
7 庄川（低学年 金賞）	 「庄川をはしる遊覧船」 たかおかしりつこうりよう 高岡市立高陵小2年 ふたつや こうへい 二谷 晃平 さん	深緑の山々に囲まれた庄川峡のダム湖に一隻の遊覧船が波を立てて滑らかに走っている様子が描かれています。作者は山の木々と水面、どちらも緑色を基調として描いていますが、それぞれの塗り方を変えることで質感の違いを表現していて見事です。大胆なタッチで小さな船を描くことによって、より一層、大自然の広がりを感じさせてくれます。遠くまで澄み渡る清らかな庄川峡の景色が心に癒しを与えてくれます。
8 庄川（高学年 金賞）	 「庄川で鮎を捕まえたぞ！」 たかおかしりつぱくろう 高岡市立博労小4年 つかもと こうせい 塚本 孝政 さん	鮎を捕まえて満面の笑みを浮かべる作者の全身像が印象的な作品です。頭から足先まで上手に画面におさまっていて、作者の描写力の高さが光ります。また、画面が淡く透明感あふれる色調でまとめられ、川面に日光が強く反射している様子が感じられ素晴らしいです。庄川で楽しんだ夏の日のきらきらとした瞬間が生き生きと描かれていて、とてもさわやかな気分になる作品です。

	作品	講評
9 小矢部川 (低学年 金賞)	 「おじいちゃんと上川崎の川」 なんとしりつふくの 南砺市立福野小2年 あさだ りく 浅田 陸 さん	今年の7月に完成したばかりの川崎橋を背景に、作者の祖父が護岸の工事をしている様子を描いた作品です。仕事中に孫の姿を見つけたおじいちゃん表情が、とても微笑ましいです。こちらに声をかけているのでしょうか？油圧ショベルを巧みに操るおじいちゃんの姿が、作者の目には誇らしく映ったに違いありません。大きな画用紙に大切な人、川、橋を盛り込んで、細部まできちんと描いてあります。その素直な表現に心打たれる作品です。
10 小矢部川 (高学年 金賞)	 「魚を釣った夏の思い出」 なめりかわしりつせいぶ 滑川市立西部小6年 うえの ひろ 上野 比路 さん	竿の先から垂らした糸、針には赤いワーム（ミミズ？）そして、今まさにそれに喰らいつこうとする魚の様子がとても躍動的に描かれています。釣りの醍醐味が伝わる作品です。うるんだ魚の目もまるで本物のようです。絵の具のにじみやぼかして穏やかな子撫川ダムの湖面を表現し、その日の空模様も想像できます。緑豊かな山々に囲まれた場所の静と動をうまく描き分け、作者の釣り好きが画面からあふれでた迫力満点のとても良い作品です。

	作品	講評
11 審査員特別賞	 「うきわとびこみ、金メダル？」 とやまだいがくきょういくがくぶぞく 富山大学教育学部附属小2年 あおと ちか 青砥 千華 さん	立山町岩峯寺の雄山神社近くを流れる常願寺川で、水遊びをする様子が描かれています。うきわをした子どもたちが、川に上手に飛び込めたかどうか、見守る大人に尋ねる楽しげな声が聞こえてくるようです。浅瀬の石ころや、生い茂った草木、背景に走る富山地方鉄道の電車や橋など、描きこまれた細部からは現地の景色が思い浮かびます。登場人物の衣服は、ピンク、黄色、オレンジ、茶色と様々で、川底の石には紫や黄色系の色が用いられています。こうした様々な色を使って、豊かな色彩感覚で描いている点も評価されます。
12 審査員特別賞	 「川にうつった花火」 いみずしりつだいもん 射水市立大門小5年 おおあさ みなつ 大浅 望夏 さん	暗闇の真ん中に和田川が流れています。遠くの方で花火が一発上がり、川面にその花火が映っています。画面は黒と灰色が大部分を占めていますが、色鮮やかな点描で小さく花火を描くことで、その一瞬の輝きが際立って見えます。川に映った花火は少しタッチを変えてにじんだように表現していて上手だなと感心しました。地平線に小さな街の灯りを描き、花火の大きさや空間の広がりを出しているところも良いです。近くで見物する大輪の花火も美しいけれど、遠くの花火や水に映るにじんだ花火もそれに負けないくらい美しいなと気づかせてくれた作品です。独自の感性がこの作品にはしっかりと表現されていました。